

2016年8月2日の経営会議の概要

日時 : 2016年8月2日(火) 午後2時~午後3時25分
会場 : 政策会議室
委員・幹事 : 市長、高橋副市長、山田副市長、教育長、政策経営部長、経営改革室長、総務部長、財務部長、広報担当部長、企画政策課長、企画政策課未来づくりプロジェクト担当課長、企画政策課政策研究担当課長、秘書課長、広報課長、法制課長、職員課長、財政課長
説明 : 議題1 市民病院事務部長、市民病院事務部医事調整担当部長、市民病院事務部総務課長、市民病院事務部経営企画室長 議題2 政策経営部長、企画政策課長、企画政策課担当課長、経営改革室課長

議題1 : 町田市民病院中期経営計画(2017年度~2021年度)の策定について
(市民病院事務部)

【付議の目的】

○町田市民病院中期経営計画(2017年度~2021年度)の原案について承認を受ける。

【提案の概要】

町田市民病院では、2007年に総務省が策定した「公立病院改革ガイドライン」を受け、「町田市民病院中期経営計画」を策定した。2011年度には、現在の中期経営計画を策定し、経営改善に取り組むことで、一定の成果を上げることができた。

しかし、依然として医療を取り巻く環境は厳しく、少子高齢化が急速に進展する中で、地域ごとに適切な医療提供体制の再構築が必要となっていることから、2015年3月に、「新たな公立病院改革ガイドライン」が総務省から示され、全ての公立病院に「新改革プラン」を策定することが義務付けられた。

町田市民病院が町田市の中核病院として、地域の医療機関との適切な役割分担の下、地域から求められている二次医療、救急医療、災害医療などの役割を継続的に担っていくことができるよう、現在の中期経営計画を継承する「町田市民病院中期経営計画(2017年度~2021年度)」を策定する。

「町田市民病院中期経営計画(2017年度~2021年度)」では、目標に到達していない救急医療や経常黒字化を含め、取り組み項目、目標を再設定し、「新たな公立病院改革ガイドライン」で求められている、地域医療構想を踏まえた果たすべき役割や医療機能、経営指標に係る数値目標を設定することで、「新公立病院改革プラン」に位置づける。

【主な意見】

- 町田市民病院が目指す姿について、市民にわかりやすく示すこと。
- 指摘された文言の整理をすること。

【審議結果】

提案内容を承認する。上記意見に留意した上で進めていくこと。

議題2：2017年度「市政運営の基本的な考え方」について（政策経営部）

【付議の目的】

○2017年度の市政運営の基本的な考え方について承認を受ける。

【提案の概要】

人口減少による税収減と急速な高齢化による社会保障給付費の増加により、行政が財源を使って課題を解決できる場面は少なくなっている。また、2012年度から2021年度を計画期間とする「まちだ未来づくりプラン」の後期実行計画である新たな5ヵ年計画が、2017年度から開始する。

政策・施策の立案にあたっては、国の配分する財源に頼らず、現場に近い行政職員が、自分自身でものを考え、これまでとは違うやり方で「人・モノ・金」の新たな地域循環を作り出す必要があり、政策・施策の実行にあたっては、地域の様々な主体から生まれてきた取り組みをつなぎ合わせ、「付加価値」、「相乗効果」、「共感」を「新たな担い手」、「地域循環」に広げる必要がある。

また、行政経営改革については、常に効率的・効果的な手法で市民サービスを向上させ、今まで以上に「市民から信頼される市政の実現」を目指すため、「対話重視」、「市役所の使命の明確化」、「持続可能性」の3つの視点を重視して進める必要がある。

そこで、各部において2017年度の政策・施策の立案及び行政経営改革を進めるにあたっての基本的な考え方を示す。

【主な意見】

○過去の経過や取り組みを踏まえた上で、基本的な考え方を示すこと。

○指摘された文言の整理をすること。

【審議結果】

提案内容を承認する。上記意見に留意した上で進めていくこと。